

# 研究協力をお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

大学ラグビー選手における頸椎椎間板輝度変化は単純 X 線側面像の頸椎アライメントから予測できるか？

## 1. 研究の対象および研究対象期間

2021年4月から2023年3月の間に昭和医科大学藤が丘リハビリテーション病院のメディカルチェックを初めて受診し、1年次に単純 X 線頸椎側面像と頸椎 MRI、4年次にも頸椎 MRI を撮影していた大学ラグビー選手の方。

## 2. 研究目的・方法

ラグビーはコリジョンスポーツであり、体の衝突による障害が生じやすいスポーツです。我々の先行研究で、大学ラグビー選手は在学中の経年変化で椎間板変性が進行してくることを報告しました。その際、フォワードの選手の方がバックスの選手よりも変性が進行しているという特徴を示しました。しかし、どのような特徴を持った選手で椎間板変性所見が進行しやすいのかは明確になっていません。

本研究では、大学ラグビー選手のメディカルチェックにおいて、1年次の単純 X 線頸椎側面像における頸椎アライメントと、1年次と4年次での頸椎 MRI で頸椎椎間板輝度変化に関連があるか検討します。

仮説：1年次の頸椎アライメントが不良であれば、頸椎椎間板輝度変化は多く生じている。

## 3. 研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2028年3月31日まで

## 4. 研究に用いる試料・情報の種類

- ・1年次の患者背景（ラグビー競技歴、身長、体重）
- ・1年次の単純 X 線頸椎側面像（前屈位、中間位、後屈位）  
計測項目：中間位 第2頸椎椎体下縁-第7頸椎椎体下縁のなす角度  
第7頸椎椎体下縁の傾き  
第2頸椎椎体中心を基準とした垂直線と、第7頸椎椎体上後縁までの距離  
前屈位 第2頸椎椎体下縁-第7頸椎椎体下縁のなす角度  
後屈位 第2頸椎椎体下縁-第7頸椎椎体下縁のなす角度
- ・1年次と4年次の頸椎 MRI T2 強調脂肪抑制像 矢状断像 C2-Th1 の Pfirrmann 分類
- ・頸椎 MRI で変化あり群、変化なし群の2群で、1年次単純 X 線頸椎側面像の計測項目を比較検討します。

**5. 外部への試料・情報の提供**

該当致しません。

**6. 研究組織**

研究責任者 研究機関名 昭和医科大学スポーツ運動科学研究所 氏名 古屋貫治

**7. お問い合わせ先**

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

所属:昭和医科大学スポーツ運動科学研究所

氏名:古屋貫治

住所:神奈川県横浜市青葉区藤が丘 2-1-1

電話番号:045-978-6302